

(別紙)

第三者評価結果

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a・㊦・c
<コメント>理念・方針がパンフレット、ホームページに記載され明文化されているが、民営化後間もないため、再度職員の意識の統一と見直しの必要性がある。		

Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・㊦・c
<コメント>毎月会計監査から分析し、法人理事会で運営状況を明確にしているが、職員体制や人材育成についてまだ十分でない所がある。地域の保育ニーズについては、市や関係機関と連携し、把握している。		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・㊦・c
<コメント>運営状況について定例理事会で報告し、課題を検討しており法人役員にも共有化が図られている。職員への周知が不十分な状況である。		

Ⅰ-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
Ⅰ-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	Ⅰ-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・㊦
<コメント>法人は中・長期計画は策定しているが、保育所については民営化3年目であり単年度計画に留まっている。今後は法人計画に沿った保育所独自の中・長期計画の策定を期待したい。		
5	Ⅰ-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・㊦
<コメント>単年度計画は、中・長期計画を踏まえた計画書にはなっていないが、数値目標や成果について評価が実施されている。		
Ⅰ-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	Ⅰ-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・㊦
<コメント>事業計画は職員の参画の基に策定されておらず、周知も不十分な状況である。今後は職員の参画と理解、周知についての検討を期待したい。		
7	Ⅰ-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・㊦

<コメント>保護者への周知についての必要性への理解が不十分であり、周知や説明がなされていない。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<コメント>保育の質の向上については、2か月に1回のケース会議や週1回開かれる職員会議において検討しているがPDCAサイクルには至っていない。第三者評価は今回が初めての取組みである。		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<コメント>具体的な改善策の検討に至っていない。		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<コメント>施設長は会議や研修の場で説明しているが、文書化されていなく不明確な部分がある。		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<コメント>福祉分野の遵守すべき法令等については会議や研修に参加するほか行政と連携、把握し、職員に対して周知している。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント>保育の質の向上については定期的に主任や主担当と話し合う場を設けており、ケース会議等を通して指導力を発揮している。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a・b・c
<コメント>法人管理者や会計士と毎月会議等を実施しているが、保育所独自の経営改善や業務の実効性を高める取り組みにはしていない。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		

14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㊦・c
<p><コメント>法人として人材確保等を行っているが、運営期間が短いため定着に関してはこれからの課題である。</p>		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・b・㊦
<p><コメント>法人本部で総合的な人事管理が行われている。保育所職員の理解や周知について不明確な部分がある。</p>		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㊦・b・c
<p><コメント>職員勤務シフトを作成者の主任と連携し、業務内容を把握して定期的に職員面談を実施して、職員が働きやすい職場づくりに努めている。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・㊦・c
<p><コメント>職員一人ひとりの自己評価表(チェック表)については定期的実施しているが、目標設定や達成度の確認はできていない。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㊦・c
<p><コメント>内部の勉強会等は充実しているが、外部研修の参加については一部の職員のみでの参加であり、今後は研修計画を作成し、研修が実施されよう期待したい。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㊦・c
<p><コメント>外部研修参加者の報告会を実施し、他の職員と共有化を図っている。</p>		
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㊦・c
<p><コメント>実習生の受け入れは積極的に行い養成校との連携をもとに実習生に対するオリエンテーション等を実施し、取り組んでいる。</p>		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㊦・c
<p><コメント>ホームページやパンフレットで情報公開しているが開設3年目であり地域への理解、浸透は不十分などところがある。</p>		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㊦・c
<p><コメント>定期的に会計監査が実施され、適切な指導により透明性の高い適正な運営に努めている。</p>		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
--	--	---------

Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a・b・㊦
＜コメント＞行事や活動などの報告周知を行っているが、地域との交流に広がりが少ない状況である。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㊦・c
＜コメント＞ボランティアの受け入れは積極的に受け入れており、特に高校生ボランティアを受け入れている。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㊦・c
＜コメント＞各関係機関と相互に連絡が図られており、特に子ども発達センターとは協議を行っている。職員には社会資源等の周知は行っているが、活用等は不十分である。		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a・㊦・c
＜コメント＞自治会と防災協定を結び、近隣福祉施設との合同防犯訓練を実施している。見学や地域住民に開放し、対応している。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・㊦
＜コメント＞現在まで公益的な事業や活動は実施されていない。		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・㊦・c
＜コメント＞定期的な園内研修及び研修報告で話し合い、共通の理解を得ている。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a・b・㊦
＜コメント＞生活面でのプライバシー保護の実践はしているが、プライバシー保護についての規定、マニュアル等は整備されていない。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㊦・b・c
＜コメント＞見学や入園相談は最大3組までとして、相談内容に丁寧に応じ、パンフレット等を活用し、分かりやすく説明している。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説	㊦・b・c

	明している。	
	<コメント>入園説明会を開催して、資料を配布し保護者等に分かりやすく説明している。	
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・c
	<コメント>まだ卒園児、退園児が少数の為整備されていない。	
	Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。	
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・b・c
	<コメント>行事ごとに報告、アンケートの実施、家庭連絡帳への感想の記入等行っているが、満足度への対応は十分でない。	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・c
	<コメント>年度初めに必ず文章、通年ポスターは掲示しているが、利用された事例はない。	

35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・c
	<コメント>保育室以外に面談室、子育て相談室を設置している。また児童票で確認している。	
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・c
	<コメント>まだ相談や意見は多くないが、家庭連絡帳等を活用し、保護者に丁寧に対応している。	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・c
	<コメント>一部外部研修に参加し、園内研修で全職員に周知している。	
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・c
	<コメント>嘱託医と連携し、定期的な情報交換等をして、健康管理マニュアルを整備して保育所全体で感染症予防の意識を高めている。	
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・c
	<コメント>ハード面は新築開園3年目で備蓄品や防災用品の管理は出来ている。月1回の定例訓練や年1回の消防署立ち合いでの訓練も行っている。	

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1)	提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。

40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・㊦・c
<p><コメント>標準的な実施方法が文書化されているが、まだ保育実践において共通認識が十分でない。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・㊦・c
<p><コメント>標準的な実施方法について、職員会議等で現状を分析、検証する見直しの仕組みが定めてある。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a・㊦・c
<p><コメント>アセスメントに基づく指導計画が策定され、適切な指導がされている。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・㊦・c
<p><コメント>見直しによって変更した指導計画の内容を関係職員に周知手順を定めて実施している。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a・㊦・c
<p><コメント>個別の指導計画に基づく保育が実施され、記録されているが職員の共有化が十分でない。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・㊦・c
<p><コメント>子ども一人ひとりに関する状況について記録されているが、職員間での共有化が十分でない。</p>		

A-1 保育内容

A-1-(1) 保育課程の編成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a・㊦・c
<p><コメント>理念、基本方針等は公立保育園の時のものをそのまま引き継ぎしているが、毎年見直しを行い、5年を目途に法人独自の理念、基本方針へと変更していく予定となっている。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	㊦・b・c
<p><コメント>幼児保育室には、発達支援児等に配慮した、デンと呼ばれるスペースを用意し、過ごして頂けるようになっている。また、個の発達に応じて食事や睡眠の空間を分けられるよう設備面の配慮がなされている。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・㊦・c
<p><コメント>子どもの状況は週1回の職員会議や児童票、記録等で共通理解を図っている。それでも保育士の都合で静止させる言葉が出てしまう場面、子どもの流れに合わせられない場面もあるため、言葉の研修やセルフチェックなど改善の取り組みを実施している。</p>		

A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	㊸・b・c
<p><コメント>個々の発達に合わせ、個人別の配慮計画を作成し、月ごとに評価、見直しを行い、基本的な生活習慣が習得出来るようにしている。また、食事は子ども自ら量を考えながら取り分けることができるバイキング形式を採用し、主体性を育てている。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・㊸・c
<p><コメント>乳児に関して、安全面への配慮が優先され、手に届くところに玩具や描画の配置がなく、主体性や自主的な遊び・活動ができる環境が不十分となっている。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㊸・b・c
<p><コメント>個別の計画を基に、子どもたちが興味・関心があることを尊重し、0歳児には安全を見守りながら探索活動を行えるよう時間を作っている。家族とも送迎時、連絡帳などを活用しながら連携を図り、担任、主任、園長と情報を共有することが出来ている。</p>		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊸・c
<p><コメント>子どもが自発的に遊べる環境を目指してはいるが、安全面への配慮に重きを置いてしまい、保育室の環境が不十分となっている。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊸・c
<p><コメント>園として自由保育を前面に打ち出して保育にあたっており、それらの活動は保護者等へは伝わっているが、移管後3年目ということもあり地域や就学先等への繋がりがまだ少なく伝えられていない。教育の面において学習の基盤育成につながる取り組みが不足している。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊸・c
<p><コメント>認定時については、保護者、子ども発達センターとも連携し、個別の対応、指導計画を立て、職員間で情報の共有を図っている。また職員へも質の向上を図るため研修を実施している。疑わしい子どもに関しても情報を共有し、関係機関へ繋ぐようにしている。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・㊸・c
<p><コメント>保育計画には長時間保育に関する位置づけはないが、クラスごとの健康観察簿をもとに子どもの様子を共有できるようになっている。また、部屋を集約しているが、年齢の異なる子どもとの関わりには配慮している。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・㊸・c
<p><コメント>まだ卒園児がいなく、小学校の行事等に参加する機会が少ない。今後、小学校の行事に招待される予定となっており、卒園児の様子を含め就学先との連携を図っていく予定となっている。</p>		
A-1-(3) 健康管理		

A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	㊸・b・c
<p><コメント>午睡時のブレスケアの徹底（10分～15分毎）、寝返りごとの仰向けの徹底を実施している。職員会議でも感染症など体調報告の実施により感染者数、内容を把握し、職員用にマニュアルも掲示してある。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㊸・b・c
<p><コメント>定期的に健康診断・歯科健診を実施し、結果を各保護者に送付し、必要に応じて通院等してもらっている。また園でも健康記録、歯科記録に反映させ、園児の状態を把握している。また園でも保育参観日に歯科医による歯科講話、歯科衛生士によるブラッシング指導を実施している。</p>		
A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a・㊸・c
<p><コメント>各園児にアレルギー調査表、医師による指示書を提出してもらい、アレルギーに対する対応を実施している。また、緊急時の対応体制については整備され、すぐにわかるように掲示されている。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㊸・b・c
<p><コメント>毎日迎えの際にどんなものを食べたのか見られるようにサンプルを掲示しており、保育参観日時にも保護者の方に様子を見てもらっている。また、幼児になるとバイキング形式で食事を取り分けるようになっており、それぞれの量を考えながら食事をとることが出来る体制となっている。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a・㊸・c
<p><コメント>保育士、給食調理員、栄養士などと月一回の給食部会があり、子どもの食事の様子、献立の改善等検討し、情報を共有しながらより良い食事環境に繋げている。</p>		

A-2 子育て支援

A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・㊸・c
<p><コメント>日ごろの相談等は家庭との連絡帳を用いてやり取りを行い、その他送迎の際にも直接相談等を受けることもある。また保護者参観、保護者主催の行事等にて関わる機会を設けることで連携を図ることが出来ている。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・㊸・c
<p><コメント>365日開園しているため、いつでも相談を受けられる体制がある。また送迎時や電話、連絡帳などでも連携を図り対応している。相談の内容によっては、担任、主任、園長も同席し相談への対応を行っている。また情報を共有できるよう児童票も活用している。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・㊸・c
<p><コメント>職員の意識を高められるよう、外部研修等には積極的に参加してもらっている。内容は園内で伝達研修を実施し、周知を図っている。しかし、園として虐待防止の連絡体制</p>		

は決まっているが、マニュアル化はされていない。

A-3 保育の質の向上

A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

A⑳	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価） を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・㊦・c
----	---	-------

<コメント>保育士の自己評価と園長による年2回の面談を実施し、その他日誌や計画等で保育の振り返りを実施している。しかし、園全体の振り返りや各保育士の課題の改善につながっていない。